

令和3年度第1回
射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会会議録

1 日 時 令和3年6月29日（火）午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 射水市役所（本庁舎）会議室302・303

3 出席者

(1) 推進委員会委員 14名

宮嶋会長、新鞍副会長、野澤委員、櫻田委員、徳島委員、義本委員、中川委員、川口委員、渋谷委員、森本委員、小林委員、稲垣委員、岡田委員、砂原委員

(2) 事務局 15名

小見福祉保健部長、北福祉保健部次長、山口地域福祉課長、轟介護保険課長、高岡保健センター所長、松島市民病院看護部長、杉谷地域福祉課副主幹、竹島地域福祉課課長補佐、作道地域福祉課地域支援係長、城石地域福祉課地域ケア推進係長、菓子介護保険課課長補佐、種村介護保険課認定係長、坂本保健センター健康増進係長、向山地域福祉課福祉政策係主査、熊藤介護保険課主任

[会議次第]

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 令和2年度の進捗状況等について

ア 射水市の高齢者人口及び要介護等認定者数の推移について

イ 射水市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の実施状況について

4 その他

5 閉会

[会議録]

事務局 議題（１）令和２年度の進捗状況等について

ア 射水市の高齢者人口及び要介護等認定者数の推移について

イ 射水市高齢者保健福祉計画・第７期介護保健事業計画の実施状況について

説明。

会 長 多くの事業に取り組んでおられると感じました。新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか事業が予定どおり進まなかったこともあるかと思いました。

委 員 資料２の２０ページ、みまもりあい事業のアプリのダウンロード数の中でアクティブユーザーは把握できているのでしょうか。ダウンロードしただけで使用していない人もいると思います。今後ＩＣＴが進む中で、このような捉え方は大事なのかなと考えます。また、このアプリは市が開発したのでしょうか。市ではべいぐるんアプリや市のラインアプリなどいろいろなプラットフォームを使っている中、何が何だか分からなくなるということが考えられます。市が競合するアプリを開発する予定はあるのでしょうか。

事務局 みまもりあいアプリのアクティブユーザー数の把握は残念ながら行っておりません。また、このアプリは、平成２８年度厚生労働省のモデル事業で開発された(社)セーフティネットリンケージで作られたものを利用しています。今後、市独自のアプリを開発する予定はありません。

委 員 資料２の１ページ、健康づくりボランティア育成養成事業の中で、栄養教室に１０回８７人の参加がありますが、食生活改善推進員になられた方はどのくらいおられるのでしょうか。市が養成されたボランティアがどのように活動されているか把握しておられますか。

事務局 栄養教室に参加された方８７人は、延べ人数です。また、養成研修を受けられた方が食生活改善推進員になられたかどうかは、確認して報告します。

委 員 市がせっかく良い取組を行っているのに、研修を受けっぱなしで終わるのはもったいないと感じます。強制はできませんが、できるだけ理解をしていただき、しっかりと後付けを行うことが必要であると考えます。

会 長 確かに養成した後が大事だと感じます。養成研修の中で実際の活動を行ったり、意見交換や勧誘などがあれば今後につながることもあると思うので、研修

の内容を検討していただければと思います。

委員 資料2の5ページ、こころの健康についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響で富山県は前年度より自殺者が増加しており、特に女性や若い方が多くなっています。相談内容は、どのようなものなのでしょう。深刻なものがあるのか気になります。

事務局 内容としては、新型コロナウイルス感染症の影響から、労働面や金銭面に關わる相談があり、社会福祉協議会や市の担当課へつないだケースがありました。重症のものではなく、1回だけの相談で終わったケースとなっています。

委員 わかりました。何らかの対応が必要だと思っておりますが、なかなか難しいと感じています。

会長 特に質問がなければ、次の説明をお願いします。

事務局 その他（1）令和3年度新規事業について
ア 足洗型公園介護予防健康器具設置事業
イ ノルディックウォーク体験会
ウ 「認知症の人にやさしいお店」登録事業
説明。

委員 私は地域支え合いネットワーク事業に関わっています。この事業は全27地域振興会が母体で地域の様々な面で支え合うこと、子どもからお年寄り、障がいのある方、ひきこもりの方をみんなで支えていくという大きな事業であり、私自身、力を注いでいます。現在、私たちのカフェには、認知症の方が3名、ひきこもりの方が2名来ておられます。スタッフは認知症サポーター養成講座を受けていますが、いざ関わるとなると、なかなか難しい面があります。この前も、要支援1から要介護2になられた方で、午前中来ておられたのに、午後からどこへ行かれたかわからないということがあり、スタッフで探したケースがありました。近くの家なのにわからなくなる、この前まで元気だったのに急に様子が変わってしまわれた方に私たちなりの見守りを行っています。今は、デイサービスを週2回から4回に、カフェに週2回通っていただくことを話し合いました。こうしたことも、地域で見守っていたから次の段階に行けたのだと思います。地域全体で見守っていけるのは、地域支え合いネットワーク事業であると思います。現在、共生社会モデル事業で週4回のカフェを開催していますが、地域の方が気軽に来て、みんなで情報共有ができる環境となるよう、また、全27地域振興会がそのようになっていけたらと願っているところです。

会 長 ありがとうございます。確かに身近なところだからできるというこの取り組みは本当に大事だと思います。これが射水市全体に広がり、かつ、住民ができることには限界があるので、万が一のときは、しっかりと行政や専門機関につなぐことができる体制づくりが大事だと考えます。

委 員 老人クラブ会員もチームを組みながら支え合い活動を行っています。先日、県の老人クラブ主催でひとり暮らし高齢者支援活動のリーダー研修会が行われ、市から21名参加し、熱心に2日間勉強されました。先ほどのお話にあったとおり、この後のフォローとして活動に向けた体制づくりが必要であると感じました。今後ともご指導をいただければと思います。

会 長 今の意見と先ほどの地域支え合い活動がつながれば、その一員として活動する場となるのではないかと感じます。今後、横のつながりが密接になり連携できる場がつくられていけばいいかなと思いました。引き続きよろしく願います。

委 員 資料11ページ、ひとり暮らし高齢者等除雪助成事業について、今年は8件となったと説明がありました。今年は何十年に一回の豪雪であり、私の地区でも除雪の補助制度がないかという話がありました。この制度では、ひとり暮らし世帯でないと該当しないということで、除雪業者を紹介していただいただけで歯がゆい思いもしました。今後、もう少し使い勝手のいい制度を考えていただければと思います。

会 長 この冬は大雪で、行政の方に電話や要望があったと思います。事務局から説明等がありますか。

事務局 1月の大雪の際は、助成事業や除雪相談に電話対応をしていました。ちょうど連休期間中で、なかなか事業者への連絡が繋がらず、私たちも歯がゆい思いをしました。今後の課題であると感じています。また、地域の民生委員の皆様には、近所の方々に声をかけていただき、除雪の対応して下さったと聞いています。この場を借りて、改めて感謝の思いを伝えたいと思います。ありがとうございました。

委 員 コロナ禍という今まで経験したことのない状況の中で、これらの事業を展開しておられるのは素晴らしいなと感じています。商工会議所としては、認知症の人にやさしいお店の登録に向け、商店連合会が中心となって講座を開催しました。また、会員事業所でも講座を開催することが決まっています。事業者の

立場から、いつも来ていただいているお客様の変化を感じ取り、長年住まいをした地域で住み続けたいと思っておられる方々の健康寿命の延伸などのお手伝いができればと考えています。

委員 資料3について、足洗公園再生の一環とした事業とのことですが、足洗は遠いと感じます。免許を返納した高齢者などはどのようにして、行けばいいのでしょうか。

事務局 おっしゃるとおり、射水市の中でも一番北の海沿いの地区で、市民でもご存知ない方も多いのではないかと思います。公園の再生事業として、この公園を実際に見ていただいて知っていただくということも含めて計画しました。コミュニティバスのバス停もありますので、ぜひご利用ください。

委員 コミュニティバスについては、だれも乗っていないこともあります。たくさん人に使っていただけるよう、しっかりとPRをお願いします。

事務局 わかりました。ありがとうございます。

委員 コミュニティバスについてですが、路線に「認知症の人にやさしいお店」のステッカーが貼られるお店が増えるといいなと思います。高齢の母が免許返納しコミュニティバスの無料乗車券を持っていますが、物忘れが出てくると、外に出る自信がなくて、まだ乗ることができていません。そうした方でも、簡単にいろんなところに出かけることができるよう、バス停のあるところにやさしい方がいるお店が増えるといいなと思います。

会長 そうなると最高ですね。降りるところにステッカーが貼られたお店があって支援していただける方がいる、そうなればいいですね。

委員 ケアマネジャーとして、追加資料にある2つの事業所の開設については、とても関心があり期待をしています。看護小規模多機能型居宅介護事業所については、医療ニーズの高い方を看取りまで受けていただけることです。リハビリ特化型デイサービスについては、100歳体操に行っているけど、ちょっと筋肉の部分に不安があるとか、100歳体操の会場まで出向けないなど、介護予防の利用者さんが関心を示しておられます。始まったばかりなのですが、この後、利用者のモニタリングや事業者と連携をしながら、どういった状況になるのかと楽しみにしているところです。

会長 利用者さんの感想やモニタリングの結果をこの会議で教えていただければ

と思います。私も、母が在宅で介護サービスを受けていた時にリハビリをしてくれるデイサービスがあればいいなと思った経験がありましたので、こういったサービスが広がってくれればいいなと思います。

委員 新型コロナウイルス感染症の影響の中懸念されたことは、これまで行ってきた地域の福祉活動ができなくなるのではないかということでした。100歳体操の出前講座の開催数などは減少していますが参加者数はあまり減少していないことから、地域の方が工夫され続けておられるのだなと思いました。また、社会福祉協議会としても、ケアネット活動などは地域に欠かすことができない活動であるので、地区社協には市の感染対策指針に沿って、関係者の健康、安全を優先した上で無理なく活動していただくようお願いしていたところです。実際、活動については、対象者数3名の減少、活動回数においては例年より1,164回の減少となりましたが、地域活動ができないという状況ではなく、皆さんは工夫して続けていただいていると思います。引き続き、高齢者の方の状況に合わせた支援を行っていきたいと思っています。

資料40ページにある人材確保に向けた新たな施策を検討することは素晴らしいと思います。その他に、コロナ禍で実際に福祉の現場で働いておられる方々のメンタルケアも大切だと思うので支援を行っていただければと思います。

会長 ありがとうございます。福祉従事者がほっと一息できる場などがあればいいなと思います。

副会長 皆様の熱心な取組に対して尊敬をしております。コロナ禍において、健康づくりの面では集団から個別へ、介護サービスについては、通所・短期入所サービスなど人が集まるものは減少する中で、ささえあいネットワークなど個別の関わりがもうしばらく大事になってくるのではないかなと思います。老人クラブ会員や、シルバー人材センターの会員が減ったというのは残念ですが、いろいろな講座に参加するこれらの方々が横のつながりを持っていただき、できるところから手を取り合っているいろいろな活動につなげていただければいいかなと思います。

会長 現在、新しい計画のもと取り組まれています。また、次年度の今頃に進捗状況を報告いたします。皆様のそれぞれの立場で地域のため福祉のためご尽力いただければと思います。よろしく願いいたします。

これを持ちまして、会議を閉じさせていただきます。